

◎道路功績者表彰

岐阜、山形、奈良の各縣知事より道路功績者表彰方推薦ありたるに付慎重審査の結果、左記の通り道路功績者表彰規定第一條に依り表彰することに決定し、各地方長官に依囑して夫々表彰した。

記

山形縣 西村山郡大谷村道路愛護會

同 飽海郡田澤村道路愛護會

同 西田川郡山戸村

奈良縣 北葛城郡王寺町道路愛護團

右道路功績者表彰規定第三條に依る表彰狀(額縁付)贈與

岐阜縣修路工夫 富田柳藏

同 同 橋詰吉五郎

山形縣道路工夫 小野長作

同 同 横倉專五郎

右規定第三條第四條に依る表彰狀(額縁付)、一等功績章及木杯一組贈與

岐阜縣修路工夫 大内角

同 同 林音吉

山形縣道路工夫 石川岩太郎

山形縣道路工夫 工藤堅太郎

右規定第三條第四條に依る表彰狀(額縁付)、木杯一箇贈與

◎幹事囑託

内務技師田邊良忠氏(三月四日)土木事務官淺香小兵衛氏

(四月十三日)に本會幹事を囑託せられた、兩氏の略歴は次の通

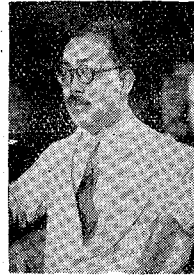
の通

田邊良忠氏

京都市下京區松原通大和東入二丁目轆轤町士族で明治十

八年一月誕生、明治四十三年三月京都帝國大學理工科大學

土木工學科卒業同月京都市技師となり同四十五年三月名古屋



屋市技師となり大正六年三月群馬縣技師に任ぜられ同七年八月以來愛知縣技師滋賀縣技師栃木縣技師兵庫縣技師を歴任昭和二年四月兵庫縣土木部長に同四年八月神奈川縣土木部長に任ぜられ同十二年十二月休職翌十三年二月内務技師に任ぜられ土木局勤務を命ぜられた。

淺香小兵衛氏



富山縣西礪波郡置戸村字竹丸に明治二十八年十二月を以て誕生、大正九年七月立命館大學專門部法律科卒業先是七年八月に京都府屬となり同十二年七月内務省社會局屬に轉じ同十三年二月内務屬となり土木局に勤務す。昭和七年十一月道路主事兼土木主事に任

ぜられ茨城縣勤務となる。同十一年九月地方事務官茨城縣勤務となり商工水産課長となり、翌十二年一月土木事務官に轉じ、下關土木出張所勤務、翌十三年三月本省土木局道路課勤務となる。

○水野本會々長の榮譽

水野會長は自治制に關する功績あり今回旭日桐花大綬章を授けらる。

○加藤伴平氏 本會幹事加藤技師は昨年夏以來歐米見學中の處四月一日歸朝せらる。

○大石義朗氏 本會事業上關係淺からざりし内務技師大石

義朗氏は今回退職し去る四月十八日東京出發滿洲に赴任

○地方官交代 長崎縣知事岡田文秀氏は傷兵保護院副總裁

に山梨縣知事藤原孝夫氏は同院計畫官長に任ぜられたる

爲琦玉縣知事川西實三氏長崎縣知事に富山縣知事土岐銀

次郎氏琦玉縣知事に大阪府書記官土居章平氏山梨縣知事

に岡山縣書記官矢野兼三氏富山縣知事に轉任、又地方局

行政課長加藤於菟丸氏は内務省會計課長に轉ぜられた。

◎特許局の發明に關する獎勵

優秀なる發明を誘掖獎勵する爲從來發明獎勵費を交付して來たが昭和十三年度に於ても發明の試験、研究費又は見本製作費補助の趣、大正六年十月十三日農商務省令第二十八號發明獎勵費交付規則参照。

◎内務省土木試験所談話會

昭和十三年四月中に開催したる土木試験所談話會に於ける話題は次の通りである。

第百六十九回技術談話會話題

時日 昭和十三年四月二十一日(木曜) 午後一時半—五時

場所 本郷區駒込上富士前町二六 内務省土木試験所講堂

一、神崎川分流模型實驗報告 (二〇分) 松尾 技師

二、アルコールを混入せる自動車用ガソリンに就て

(三十分) 西川 技師

三、歐米の土木工事の實況に就て(十六耗映畫撮影)

約二時間 (午後三時より五時迄) 下山 技師

(米國ボストン・テック出身)

◎近刊圖書雜誌

○港灣(一六卷四號)

○科學知識(四月號)

○セメント界彙報(四月號)

○道路講習會講演集(德島縣道路講習會)

(山本廣一氏 各種鋪裝の比較並其選定、細田德壽氏 道路行政、山田元氏 路床の試験に就て其他)

○土木(四月號)

○米國に於ける自動車關係課稅問題(東京市電氣局)

○警察協會雜誌(四月號)

○東京道路研究會彙報(三月號)

(路床土の不良が道路の築造及維持に及ぼせる影響に就

て)

○土木學會誌(二四卷四號)

○鐵道軌道經營資料(一一卷三號)

○乗合自動車(一一卷三號)

○電氣通信學會雜誌(三月號)

○觀光聯盟情報(二卷三號)

○都市問題(二六卷三號)

(武居高四郎氏)地方計畫に於ける道路及街路

○竣工(三月號)

○石油時報(三月號、四月號)

○汎交通(三月號)

(交通事業調整法案に關する意見、交通調整の第一歩として連帶運輸の擴張に關し建築、省營自動車路線に於ける交通量、交通事業調整法への期待)

○技術日本(三月號)

○大阪商工會議所月報(三月號、四月號)

(川上胤三氏)國策として見たる北支經濟の開發

○大大阪(三月號、四月號)

○自警(四月號)

○紀元二千六百年(三月號)

(紀平正美氏)外人の觀察に依り我が邦を觀る

○水利と土木(十一卷四號)

○國際觀光(六卷一號)

○土木建築工事畫報(五卷四號)

○技術向上(第一輯)

○技術改善案論文集

○實用土木講座 本會理事牧博士の經營に係る日本土木工學會の發行する通信教授書である、此講座は時代の要求に應じて土木報國の志ある青年の爲に官民の斯學權威者が執筆せられ道路、橋梁、港灣、河川、砂防其他土木全體に涉り學理應用に關し記述せられて居る。

× × × × ×

× × × × ×

× × × × ×